

縁が丘まちづくり推進プログラムの改訂について

「まちづくり推進プログラム」(以下「プログラム」という。)は、地域と市が協働でまちづくりを推進していくため、地域課題を把握し、その解決に向けた方向性について情報を共有することを目的に作成しており、協議会での意見、地域での取組状況などを踏まえ、毎年掲載内容の改訂を行っている。

1 改訂に係る確認の視点

(1) 地域資源と特色のある取組(2~3ページ上段)

- ・掲載内容を確認し、各地域で新規に掲載するもの、廃止、変更が必要なものはないか？

(2) 地域の現状と課題解決のための取組・市への要望等(2~5ページ)

- ・プログラムへの掲載が補助金交付の前提となるため、補助金交付対象事業について大まかな項目を掲載する。
- ・要望等は地域で共有できる内容で、具体的なものとなっているか？解決済のものは含まれていないか？市からの回答を踏まえ、内容を精査する。

(3) その他(全体的に)

- ・この地域ではないものや、現在実施していないものはないか？
または、追加した方がよい項目はないか？
- ・類似した項目は、検討の上、統合・分割等を行い、整理する。
- ・箇条書き等、表現を統一する。
- ・ホームページ等での公開に対応し、非公開の事項や不適切な内容は整理する。

2 改訂の考え方

(1) 令和7年度の縁が丘まちづくり推進協議会で行った意見交換において、意見が一致した事項は追加又は修正する。

(2) 「市への要望・地域からの提案」は、『縁が丘まちづくり推進プログラム「市への要望・地域からの提案」に対する市の考え方(R7)』(別添)及び意見交換の内容を踏まえ、整理する。

緑が丘まちづくり推進プログラム「市への要望・地域からの提案」に対する市の考え方（R7）

要望・提案事項	要望・提案の具体的な内容	照会先 (部局名)	市の考え方（回答）
・町内会の加入率低下や役員の担い手不足に対する対策	既加入者の脱会や新規加入者の減少による町内会の加入率低下が続いている。役員の高齢化・次世代の担い手不足も深刻化しており、会の存続に苦慮し、解散を検討する町内会も出てきている。 町内会の必要性や解散した場合の地域への影響など、具体的な内容の周知や、担い手不足への抜本的な対策など、市としてより一層取組を強化してもらいたい。【継続要望の意向あり】	市民生活部	<p>（市民生活部）</p> <p>町内会の安定した存続につきましては、住民意識や生活環境の変化など時代に応じた、町内会の在り方や必要性について、住民の皆様に理解していただき、実感していただくことが大切であると考えております。</p> <p>加入促進、役員の負担軽減のための取組として、令和5年6月から「あさひかわくらしのアプリ」の運用を開始いたしました。また、市民連携と連携しながら、研修会の中で、町内会の活性化に関する意見交換の場を設ける予定です。</p> <p>町内会は様々な取組の場面で重要な役割を担っていると認識していますので、引き続き町内会の安定存続へ向け取り組んでまいります。</p>
・様々な地域組織の整理・再編	市民委員会、町内会、地区社協、民生児童委員、まちづくり推進協議会など、様々な地域組織があり、地域活動の担い手が不足している中で多くの役割が求められているため、これらの組織を整理し、持続可能な組織づくりを推進してもらいたい。	市民生活部	<p>（市民生活部）</p> <p>市民委員会、町内会、地区社協、民生児童委員、まちづくり推進協議会など、多様な組織が存在する一方で、これらの組織間の連携や役割分担が不明瞭な場合も多く、効率的な運営が難しい状況があります。</p> <p>このため、まずは、各地域組織の役割や活動内容を整理し、重複する機能や役割を見直すことが重要ですし、各組織が協力し合う体制を構築していくことも必要と考えます。さらに、持続可能な組織づくりのためには、次世代の担い手を育成していくことも欠かせません。</p> <p>今後も、地域の方々とともに、効率的な地域組織づくりに努めていきたいと考えています。</p>